

1. 基本情報

評価対象年度 ( 令和4 年度)

施策コード	221		施策名	健幸づくりの支援
将来像	2	健幸でともに支え合うまち(「支え合い」の分野)		
まちづくりの基本目標	22	健幸で笑顔あふれるまち		
主担当部	生涯健康部		主担当課	健康推進課

2. 施策の方向

10年後の姿	市民一人一人が「自分の健康は自分で守り、つくる」という意識を持っています。また、自ら進んで健康づくりに関心を持って実践し、生きがいをもって、自分らしくいきいきと健やかに暮らしています。			
施策の方向性	1	市民の主体的な健幸づくりを支援します		
	2	病気の早期発見の機会を提供し、早期治療につなげ、重症化を予防します		

3. 構成事業の状況

(単位:千円)

事務事業名	施策の方向性	担当課	令和4年度決算額
がん検診推進事業	2	健康推進課	30,987
健康増進事業	1	健康推進課	2,308
市民健康診査事業	2	健康推進課	26,647
健幸ポイント事業	1	健康推進課	12,463
食育推進事業	1、2	産業振興課 福祉総務課 子育て支援課 健康推進課 介護保険課 教育企画課 教育指導課	57
感染症対策事業	1、2	健康推進課	20,296
新型コロナウイルスワクチン接種事業	1、2	健康推進課	531,062
特定健康診査・健康チャレンジ事業	1	保険年金課	83,380
後期高齢者保健事業	1	保険年金課 介護保険課 健康推進課	106,519
総事業費(施策の合計)			813,719

4. まちづくり指標

指標情報				令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
①	名称	自分の健康状態は比較的よいと感じると思う人の割合		目標値	71.3	71.3	79.5	79.5	79.5
	説明	—	単位 %	実績値	68.4 (※)	68.4 (※)			
	抽出方法	市政世論調査(令和2、5、8年度実施)		達成率	95.9%	95.9%			
②	名称	年に一回は健診(健康診査)を受けている人の割合		目標値	83.5	83.5	83.5	83.5	83.5
	説明	—	単位 %	実績値	78.9 (※)	78.9 (※)			
	抽出方法	市政世論調査(令和2、5、8年度実施)		達成率	94.5%	94.5%			

※①②抽出方法が世論調査のため、令和2年度の実績を記載している。

5. 評価(令和4年度実績に対する)

評価基準	評価※	評価理由
投入財源・成果(「3. 構成事業の状況」「4. まちづくり指標」)に対する評価	総合評価(成果、投入財源等を総合的に評価)	維持 <ul style="list-style-type: none"> <li>●「10年後の姿」と比較すると、健康に関心のある市民が増えており、「自分の健康は自分で守る」という高い意識を持っておられる市民も少なくない。しかし大多数の市民の方が、実践と生きがいをもって自分らしくいきいきと健やかに暮らしている状況には、まだ近づいていないと考えられる。</li> <li>●まちづくり指標については、目標の達成率はともに90%を超えているが、構成事業のアウトプット(活動指標)からすると高評価はできないと考えている。</li> <li>●市民の健康づくりのために、健康診査やがん検診、各種健康教室、健康相談、疾病予防のための予防接種等の事業を展開した。がん検診については、受診率を上げるために、無料クーポンの配布、個別受診勧奨、50歳以上の方へのがん検診自己負担金の無料化、肺がん検診受診のオプションで大腸がん検診を受けられるようにする等の施策を前年度から引き続き行った。しかしながら、肺がん以外の受診率が横ばいとなっており、目標は達成できていない状況にある。今後も実施方法の見直しが必要である。</li> <li>●特定保健指導については、コロナ禍とはいえ業務を委託化した成果が十分とは言えない状況である。ただし、対象者へのアプローチの多重化が職員の負担を増やすことなく実施できた。</li> <li>●特定健康診査の未受診者に対する受診勧奨を実施し病気の早期発見の機会を提供し、早期治療につなげることで重症化予防を推進した。</li> <li>●受動喫煙防止条例を令和3年4月1日に制定し、駅周辺の受動喫煙防止重点地区、市内の学校、保育園及び幼稚園等(60か所程度)の隣接路上を禁煙とした上で、定期的に巡回を実施した。</li> <li>●事業運営としては業務委託化を推進、職員においては事業評価、対策立案及び事業の棚卸しにシフトしたい。そのためには、まず委託力(クオリティの高い仕様書の作成及びベンダーをコントロールする力)向上が必要と考える。更に職員は、事業単体ではなく複数の事業で、所管課だけではなく複数の課で、更に民間も交えた集合体(複数の実施者で複数の事業)で事業展開・運営を行い、アウトカム(成果指標)を目指さなければならないと考えている。</li> <li>●新型コロナウイルスワクチン接種事業においては、小児追加接種や乳幼児接種、オミクロン株対応ワクチン接種等、様々な対応を行ってきた。その結果、小児接種、乳幼児接種、オミクロン株対応接種、それぞれの接種率は東京都平均を上回る状況で進捗した。</li> <li>●食育推進計画の令和4年度事業について、コロナ禍で制限のある中、各課選択したテーマについて取り組んだ。令和4年11月に開催した食育展では、初めて福祉総務課、介護保険課、産業振興課も参加し、それぞれの活動内容の紹介やチラシの配布等を行った。</li> </ul>

※順調「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が順調に推移している  
 維持「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗に一部課題がある  
 停滞「10年後の達成に向け」、「構成事業の状況」や「まちづくり指標」の進捗が遅れている

6. 施策を取り巻く環境

令和4年度からの変更点	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が2類相当から5類に変更された。
-------------	---------------------------------------

7. 施策を進める上での課題

① 施策を進める上での課題 課題に対する令和6年度以降の取組	生活習慣病の重症化予防に対する取り組み等について、実施方法や体制整備等の検討を進める必要がある。 健診受診率、保健指導実施率向上、重症化予防のための取り組みを実施する。
② 施策を進める上での課題 課題に対する令和6年度以降の取組	生活習慣病予防の意識づけが必要な若い世代や、健康づくりに関心が低い人への事業展開や情報発信が課題であり、地域の健康づくりの担い手である健康づくり推進員等と協力して継続して働きかけていく必要がある。 健康に関する正しい知識などを身近な人へ伝えることのできる健康づくりサポーターの育成を行い、健康づくりの輪を広げる。
③ 施策を進める上での課題 課題に対する令和6年度以降の取組	がん検診の受診率向上を図る必要がある。 国が推進するがん検診の受診率向上を図るため、現在実施している施策の効果を検証し、より受診率を上げる施策を充実していく。